

「江戸の園芸文化 -将軍から庶民までの楽しみ-」

講師：小笠原左衛門尉亮軒（園芸研究家）

番号	画像		
1	重訂本草綱目（第2版）	李時珍：著	明崇禎13年刊（1640）
2	大和本草	貝原益軒：著	寛文12年刊（1672）
3	農業全書	宮崎安貞：編	元禄10年刊（1697）
4	仙傳書 富阿弥伝		寛永20年刊（1643）
5	立花の会流行	池坊専好活躍	寛永年間（1624-1644）
6	作庭記 上・下	藤原俊綱：著	平安時代（国宝）昭和15年複製
7	造庭花傳根本書	植木清 秘伝	著者不明 元禄10年（1697）
8	花壇綱目	水野元勝著	寛文5年（1665）序・延宝9年刊（1681）
9	花壇地錦抄	※日本最初の園芸書 伊藤伊兵衛：著	元禄8年（1695）
10	百椿集	安楽庵策伝：著	寛永7年（1630）成立
11	椿華帖	徳川家光：編	原著年不明（寛永頃）
12	牡丹名寄	團水白梅：序	貞享5年（1688）刊
13	刊誤牡丹鑑	晩英軒：著	元禄11年（1698）刊
14	牡丹秘傳書	著者不明	元禄頃（1688～1703）
15	錦繡枕	伊藤伊兵衛：著	元禄5年（1692）刊
16	新歌儂楓 古歌儂楓	伊藤伊兵衛：著	享保5年（1720）成立
17	櫻品	松岡玄達：著	宝暦8年（1758）刊
18	浴恩園桜譜	松平定信：編 星野文良画	文政5年（1822）成立
19	桜譜 じゃく譜		文久元年（1861）
20	梅品	松岡玄達：著	宝暦10年（1760）刊
21	梅花正図	春田久啓：著か	文化7年頃（1810）
22	寛平御時菊合歌	キクの実生	寛平年間（889～896）
23	上東門院菊合	八重咲きのキク	万寿3年（1026）
24	後鳥羽院	※キクを文様として用いる	建久9年～承久3年 上皇に在位（1198～12211）
25	足利義輝	※自庭に百種のキクを植え寵愛する	天文23年（1554）
26	菊詩百篇（翻刻）	「菊譜百詠図」と改題	貞享3年（1686）
27	菊の画譜	雪洞（武林唯七）：画	元禄3年（1690）
28	伊奈伝草 画菊	※刊行される	元禄3年（1690）
29	きくの百花	伝土佐光起：画	貞享（1686）頃
30	百菊図鑑	三仲斉蘭窓：画・大淀三千風序	元禄17年（1704）
31	当世後の花 花形図害虫図	霽月堂丈竹：著	正徳3年（1713）

番号	画像
32	江戸菊合 享保3年(1728)
33	花壇養菊集 志水閑亭:著 ※栽培書・菊会風景 正徳5年(1715)
34	京新秋菊惣割苗帳 ※京都植木屋連中カタログ 享保3-5年(1718-1720)
35	国字略解菊経 松平頼寛:著・刊行 宝暦5年(1755)
36	中菊花位附 ※中菊=江戸菊の栽培大流行 文政1~6年(1818-1823)
37	芍薬仕立一件 白蝶翁老適:著 寛政5年(1793)成立
38	花菖蒲培養録 松平定朝:著 嘉永6年(1853)成立
39	蓮華百種 星野文良:画 文政頃(1820頃)成立
40	草木錦葉集 水野忠暁:著 文政12年(1829)刊
41	古おもとなよせ 水野忠暁:撰・関根雲亭:画 天保3年(1832)刊
42	薩州萬年青奇品撰 嘉永3年頃(1850頃)
43	金生樹譜 長生舎主人:著 天保4年(1833)序
44	三都一朝 田崎草雲:画・成田屋留次郎 編・刊 嘉永7年(1854)
45	朝閑々美 文久元年(1861)
46	染井巢鴨さくの番付 弘化2年(1845)
47	一本三千輪・世界の図 豊広:画 ※錦絵 嘉永頃(1848-1853)
48	百種接分菊 一勇斎国芳:画 弘化2年(1845) ※染井植木屋今右衛門による百種類の菊
49	江戸島四十八景 堀きり花菖蒲 二代広重:画
50	穢土島三十六興 海案寺の紅葉 二代広重:画 元治元年(1864)
51	浅草寺桜奉納花盛図 三代豊国:画 安政4年(1857)
52	四季花くらべの内 秋 三代豊国:画 嘉永6年(1853)
53	東都三六景本郷通り 二代広重:画 文久2年(1862)
54	渡船上の植木売り 国周:画 文久3年(1863)
55	鬼一法眼三略巻・菊畑 ※文久元年江戸市村座 一陽斎豊国:画 文久元年(1861)
56	菊競艶相肩 ※江戸市村座 一陽斎豊国:画 安政2年(1855)